

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」笠岡今井校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 12月 13日		～ 2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども・保護者に対する「共感的で信頼関係を基盤とした支援」	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後、毎回のフィードバックで子どもの様子を丁寧に共有 ・保護者の不安や相談を受け止め、必要に応じて面談や助言を実施 ・職員全体で「共感的な関わり」を意識し、関係性を重視した支援 ・管理者への即時相談体制により、保護者対応の質を担保 	<ul style="list-style-type: none"> ・FBや面談内容を「支援の振り返り → 次の支援の見通し」まで言語化する工夫 ・保護者様が「いつ・何を相談できるか」がより分かるよう相談機会・面談の位置づけを明確化
2	こどもの特性に応じた環境設定と、柔軟な支援体制根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前・利用後の徹底した清掃 ・個別支援室やパーテーションを用いた刺激調整 ・人との関わりが苦手な児童への環境配慮を職員間で共有 ・建物特性（小学校校舎）を踏まえ、動線や対応を工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「気が散りやすい」という声への対応として、構造化の意図をより明確にした環境設定 ・建物構造上の制約（バリアフリー面）について、個別配慮の工夫を整理・共有
3	支援の質を支える職員間連携と振り返りの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で支援内容・役割を共有 ・終礼で支援の振り返りを行い、気づきを共有 ・記録を丁寧に残し、計画見直しや支援改善につなげている ・研修参加・法人内研修による専門性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り内容を「次の支援改善にどう活かすか」まで具体化 ・集団活動を行える体制づくりに向けた職員配置・役割の検討

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信・周知が十分に伝わりきっていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・通信・HP・SNS等の情報発信 「はい」5 / 「どちらとも」5 / 「わからない」5 ・非常時対応・訓練の認知度が低め ・自己評価でも「周知方法の検討」が課題として複数項目に記載 ➡実施はしているが、保護者に十分認識されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・見えにくい取組を“伝わる形”で発信すること
2	家族支援・地域交流の機会が限定的である点	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会・きょうだい支援 「はい」3 / 「いいえ」3 / 「わからない」8 ・地域交流・他児との活動機会は低評価 ・地域との交流機会不足を課題認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・地域を巻き込んだ支援へ段階的に広げること
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」笠岡今井校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

16

回収数

16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0	・広いスペースで、満足しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	0	0	・受け入れ、1Fから3Fへの移動、送迎など職員が協力し合って対応してくださっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	5	0	1	・小学校なので教室がたくあん興味津々にはなりやすいかも…(慣れれば問題なさそう) ・情報伝達などはきっちりしていただけてありがたいです。いつも車のところまでわざわざ来ていただきありがとうございます。	・気になりやすい環境ではあると思います。ご利用者に合わせた環境設定を個別で作っていただけるように努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	・こどもの特性をよく理解していただき、職員の情報共有もしていただいています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	0	0	2		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	5		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	3	4		
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	1	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	1	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	2	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	・こどもと共に、保護者の子育て相談もして下さり、親子そろって支援してくださっています。 ・通所の度に子供の状態と出来たこと出来なかったことを説明いただいています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	2	・不安なところをお伝えして取り組みの提案をして頂いています。	

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	・お話をよく聞いていただいております。また、子どもへ優しく接して下さっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	3	8		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	5	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	3	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	0	6		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2	0	3		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・先生を子どもはとても信頼していて、とても良い関係を築いて下さっていて、心から感謝しております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・職員のスキル、対応、子どもへの接し方、大変満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」笠岡今井校				公表日	2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		その場所で運動もできており、動きが制御されることもなく、とてもスペースはとれていると感じている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			職員の配置は足りているが、支援時間によっては厳しい場合もあるため、職員がプラスで配置できると尚良いと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	構造化された環境は適切であると思う。	建物の施設上、バリアフリー化は難しいと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用児を迎える前に都度清掃を行っており、子どもに合わせた環境設定もできている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションを使用しての個室を作ることが可能であると思う。また、人と関わることが苦手な利用児の場合は個室の支援室を使用するなどの共有が職員間でできていると感じる。	個人個人に合わせた環境設定は今後も工夫していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		入社時にPDCAサイクルの重要性について学んでいるため、それらを考えながら行動できていると思う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		把握する機会を設けており、それらの意見について事業所内で話し合いの場を設け、改善につなげられるものはできる限り解決を行っていると思う。	今後もいただいたご意見を真摯に受け止め、改善し続けていく必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		それぞれの意見を発言する場を設けていると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		一か月に一回のテーマ研修や、エリアで発信されている研修など受講する機会が確保されていると感じる。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用開始時には、支援のプログラムの公表を事前に行って支援を行えているが、日々の支援の際には支援後の報告となるケースもある。	公表方法など検討していく必要がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用前の保護者への丁寧なアセスメントが行われており、利用の際には利用児のニーズも体験等で分析をするよう心がけて作成していると思う。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と定期的に利用児について共有しながら検討を行うことができていると感じる。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		基本的に計画に沿った支援が行われていると思う。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		特にその日の行動観察やFB時の保護者からの聞き取り等は行っていると思う。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数職員で利用児の支援を行う際には、活動プログラムについて話し合いを行い決定することができている。	チームの人数は増やし、子供たちに関わる人数も増やしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援によって、利用児ができるようになるまでは固定化することはあるが、本児ができるようになれば新しいプログラムへ移行している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を視野に入れても、同時間帯に利用児と集団活動を行うことが難しく、複数職員では集団活動は行うことができていない。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を全員で行い、その日の流れや役割分担について話し合い、確認をすることができている。	共有内容をより精度を上げていけるように努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日支援終了後に終礼を行い、その日の支援の振り返りや共有事項を話し合うことができていない。	共有内容をより精度を上げていけるように努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録は細かく記録するよう心掛けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要に応じて母との面談の機会を設けており、見直しを行うことができていないと思う。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援等で参加が難しい場合は管理者のみ参加することもあるが、基本的には支援者も参加できていると感じる。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をとり、関係機関へ訪問、話し合いの機会を設けて支援への体制を整えていると思う。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等の関係機関との情報共有はあまりできていないと感じるため、そのような機会を必要に応じて取れば支援やアセスメントにつながると思う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		笠岡市では、就学前に利用児について紙面での情報提供を行っているため、相互理解を図れていると思う。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					

の連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		指導員が直接受ける機会はないが、管理者間では話す機会が定期的に設けられているのではないかと思う。		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の人々と交流する機会はなかったため、そのような機会があると他者との関わりを要する利用児にとっても良い経験になると感じる。	機会を積極的に作っていくよう努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			常に支援後のFBを行っており、共通理解を図っていると思う。	方法を検討し続けていく必要がある。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族に対しての家族支援プログラムは行っていないが、研修や講習開催の情報提供等はチラシ等で行っている。	研修等機会を作っていくよう計画していく必要がある。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に丁寧な説明がされていると思う。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			利用児やご家族の意向を確認して行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			支援内容の説明を行い、同意を得て支援を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			FB時に時間がある時には長めに相談にのっており、必要な場合には面談をする機会を設けて、必要な相談援助を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		兄弟同士で交流する機会は、きょうだいごちらも利用児である場合はできているが、片方が利用していない児のきょうだいに対しては交流する機会は設けられていない。	保護者同士で交流する機会は設けられていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			自分では対応が難しいと感じたことに関しては管理者へ迅速に報告相談をするなどに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			ブログを定期的に更新しており、具体的な内容を発信することができている。	周知方法を検討していく必要がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			それぞれの方に応じて優位な部分を配慮した伝達をしていると思う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			行事を行っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			定期的に訓練を行い、報告書を掲示している。	周知方法を検討していく必要がある。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			定期的に訓練と話し合いの機会を設けている。	周知方法を検討していく必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			アセスメントの際に書類等で記載してもらい、確認をしている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食べ物の提供をしていないため当てはまらない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修や訓練等をしており、様々なことを想定した訓練の話し合い等を行っているため、安全管理はできていると思う。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事項が起きた際には職員全員に周知している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に必ず参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事前に十分に説明を行い、了解を得ている。	